

資料⑤

「高梁市地域防災力向上の 目標・行動計画」

市民（自助）・地域（共助）
具体的な取組内容とその解説
（案）

高梁市

目次

1. はじめに	3
(1) 地域防災力の向上について（「自助」「共助」「公助」）	3
(2) 高梁市の取り組み（高梁市地域防災力向上委員会）	3
(3) 「高梁市地域防災力向上の目標・行動計画」	4
2. 「市民（自助）」が行う具体的な取組内容とその解説.....	6
a. マイ・タイムラインの作成	6
b. 避難行動のための情報入手	6
c. 非常持出品の準備	7
d. 防災講座や学習会等への参加.....	7
e. 防災訓練への参加	7
f. 防災教育の受講.....	8
g. 防災士資格の取得	8
h. 個別避難計画の作成.....	8
3. 「地域（共助）」が行う具体的な取組内容とその解説.....	9
A. 自主防災組織の結成.....	9
B. 防災士・自主防災組織等連絡会の活動.....	10
C. 自主防災組織活動促進に向けたワークショップ受講.....	10
D. 地区防災計画の策定.....	10
E. 防災マップの作成	11
F. 自主防災組織等による防災学習会開催.....	11
G. 自主防災組織等による防災訓練実施	12
H. 自主防災組織等による避難所の自主運営	12
I. 避難行動要支援者の個別避難計画に基づく避難支援.....	12

1. はじめに

(1) 地域防災力の向上について（「自助」「共助」「公助」）

近年、毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害も発生しています。

今後も、気候変動の影響による既存の想定を上回る災害や、いつ起きてもおかしくないと言われる南海トラフ地震など、大規模災害の発生が懸念されています。

市は、市民に最も近い行政主体として、市の有するすべての機能を十分に発揮して災害対応にあたりますが、ひとたび大規模な災害が発生した場合、被害の拡大を防ぐためには、市はもとより国、県、市の対応（公助）だけでは限界があります。

早期に実効性のある対策をとるためには、自分の身は自分の努力によって守る（自助）とともに、普段から顔を合わせている地域や近所の人々が集まって、互いに協力し合いながら、防災活動に取り組むこと（共助）が必要となります。

そして、「自助」「共助」「公助」が有機的につながることで、地域防災力が向上し、被害の軽減を図ることが出来ます。

東日本大震災では自治体も被災して「公助」の機能が発揮できず、熊本地震では、避難所運営に手を取られて、復旧や復興が困難となる事態も発生しました。

高梁市でも、平成 30 年 7 月豪雨にともなう災害では、避難所運営などの「共助」はありましたが、逃げ遅れ等の様々な課題も発生しており、「自助」「共助」「公助」の連携による地域防災力の向上が喫緊の課題となっています。

(2) 高梁市の取り組み（高梁市地域防災力向上委員会）

高梁市では、行政機関、学識、福祉・教育・防災機関、市民団体等の代表で構成

される「高梁市地域防災力向上委員会」（以下、委員会という。）を令和元年11月に設置し、市民及び行政の協働による地域防災力向上に係る取り組みの調査、指導、助言等を行っていただき、自助、共助及び公助の相互連携による防災体制の強化を図る取り組みを開始しました。

委員会では、「共助」となる自主防災組織の設立促進に向けて、モデル地区における設立活動の支援を行うとともに、市民や自主防災組織へのアンケートを行うなど、さらなる地域防災力の向上に資する調査や支援に取り組みました。

その取り組みの中で、「自助」「共助」「公助」のそれぞれは何をすべきか意見もあったことから、委員会より「地域防災力の向上を図るためには、住民、地域、行政のそれぞれが何に取り組むべきかを明らかにして、それぞれの取り組みが市民に共有・認識されるよう公表すること」が助言されました。

（3）「高梁市地域防災力向上の目標・行動計画」

本計画は、「市民一人ひとりが命を守る行動がとれる」ことを目標に掲げ、市民一人ひとりが自ら行う防災活動（自助）、自主防災組織等の地域における多様な主体が行う防災活動（共助）、行政が行う防災活動（公助）のそれぞれが目指すべき姿の実現に向けた、具体的な取組内容とその支援・連携について委員会でとりまとめたものです。

今後は、河川や道路などの防災対策も進められるとともに、本計画を市民、「地域、行政のそれぞれが連携して取り組むことで、目標の達成につながるものと考え

ますが、各主体において不足する具体的な取組内容等の見直しや追加をすることで、さらなる高梁市の地域防災力の向上が図れることを期待する。

なお、計画は、実施主体ごとに目標や課題、方向性や具体的な取組内容等を一覧にまとめて「高梁市地域防災力向上の目標・行動計画」で示していますが、市民や地域が行う具体的な取組内容の目的や主旨等を補足する「その解説」を以降に記載します。

2. 「市民（自助）」が行う具体的な取組内容とその解説

災害から自分自身や家族の命を守るためには、市民一人ひとりが自ら判断して、避難行動を行うことが出来る必要があります。

そのため、自宅周辺の危険情報や避難に必要な様々な情報がどこから得ることが出来て、もしものとき、どのように行動すべきかを学びましょう。

「高梁市地域防災力向上の目標・行動計画」に示す「市民（自助）」が行う具体的な取組内容とその解説は次のとおりです。

a. マイ・タイムラインの作成

もしものとき慌てずに行動ができるように、台風や大雨が予報された約3日前から当日までの自分自身がとるべき行動計画（マイ・タイムライン）を事前に作成する。（作成ツールは市のホームページに掲載）

高梁市支援： 作成ツールの作成、公開。町内会単位などで、マイ・タイムラインの作成方法の講座を開催し、作成を支援（①）

その他支援： 講座の講師（高梁青年会議所）

b. 避難行動のための情報入手

気象情報や河川の水位情報など、必要な情報がどこにあり、どうやって入手するのかを日頃から確認しておく。

高梁市支援： 河川監視カメラ設置（③）など情報収集やハザードマップ電子化（④）など情報集約を行い、ホームページ、メール、SNS など情報伝達手段の多様化を行い様々な媒体を通して情報発信（②）

団体支援 : 各種情報の収集および発信（岡山河川事務所、岡山地方気象台、備中県民局、ケーブルテレビ）

c. 非常持出品の準備

もしものとき慌てずに避難行動に移れるよう、日頃から非常持出品の準備をしておく。

高梁市支援 : 必要な非常持出品について、防災講座や学習会等を通して周知（⑤）

団体支援 : 防災講演、講話の実施（防災士会、自主防災組織）

d. 防災講座や学習会等への参加

いざ災害が起こったら何をするのか、命を守るにはどう行動するのかなど、防災講座や学習会に参加して、防災に関する意識、知識を深める。

高梁市支援 : 防災講座や学習会の開催（⑤）

団体支援 : 各団体における防災講座や学習会の開催、講座等の講師（岡山河川事務所、岡山地方気象台、備中県民局、消防本部、公民館、岡山大学、防災士会、自主防災組織、高梁青年会議所、消防団）

e. 防災訓練への参加

マイ・タイムライン等で考えた災害時の行動計画に問題は無いか、地域の助け合いに支障はないのか、市や地域が開催する防災訓練に参加して確認する。

高梁市支援 : 市民参加の防災訓練の開催（⑥）

団体支援 : 地域での防災訓練の開催（自主防災組織）

f. 防災教育の受講

学校で行われる防災教育を受講する。（児童生徒）

高梁市支援： 防災教育の講師（⑤）

団体支援： 防災教育の講師（岡山河川事務所、岡山地方気象台、備中県民局、消防本部、教育委員会、高梁青年会議所）

g. 防災士資格の取得

防災に対する意識・知識・技能を学び、防災力を高める民間資格の防災士を取得する。

高梁市支援： 資格取得の補助金（⑩）

h. 個別避難計画の作成

避難行動要支援者（高齢者や障害者等で、災害時に自ら避難することが困難かつ支援を必要とする方）は、その家族や隣近所、地域住民、福祉等関係者など、多様な支援者の協力のもと、避難計画を立てておく必要があります。対象の方には市から案内が届くので、各支援者とともに共同で「個別避難計画」を作成する。

高梁市支援： 避難行動要支援者名簿の作成と個別避難計画の作成支援（⑪）

団体支援： 避難行動要支援者の避難支援者として個別避難計画作成を支援（社会福祉協議会、自主防災組織、消防団、民生委員児童員）

3. 「地域（共助）」が行う具体的な取組内容とその解説

災害時には、一人ひとりが行動できることも必要ですが、地域には、いざという時に一人や家族だけで行動を移せていない、移せない方々もいます。

逃げ遅れ等による被害をなくすためには、普段から顔を合わせている地域、隣近所の人々が互いに協力し合い、市民一人ひとりの避難行動を後押しし、避難行動に移せない方も地域で助け合って安全を確保することが必要です。

そのため、地域で守る体制づくりや地域で学び防災の機運を高める場の創出、地域の将来を担う人材の育成など、日頃から地域で準備しましょう。

「高梁市地域防災力向上の目標・行動計画」に示す「地域」が行う具体的な取組内容とその解説は次のとおりです。

A. 自主防災組織の結成

「共助」の中核として地域の防災活動を行う組織で、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを目的に地域で話し合い自主的に結成する。

結成して市に申請することで、様々な支援を受けることができます。

高梁市支援： 結成を考えている地域に向けた説明会の開催（⑧）

団体支援： 講話や助言（備中県民局、防災士会、自主防災組織）

B. 防災士・自主防災組織等連絡会の活動

高梁市で活動する防災士や自主防災組織等の代表者が集まる「高梁市防災士・自主防災組織等連絡会」の会員となり、防災について学ぶとともに意見交換により相互の防災力を高め、会員同士が協力し合い活動する。

高梁市支援： 連絡会からの要請をもとに講演や勉強会に参加（⑤）

団体支援： 講話や助言（岡山河川事務所、岡山地方気象台、備中県民局、消防本部、公民館、防災士会、自主防災組織、高梁青年会議所、消防団）

C. 自主防災組織活動促進に向けたワークショップ受講

自主防災組織を立ち上げたが、活動が進んでいないなどの組織の課題解決に向けて、高梁市等が開催するワークショップに参加する。

高梁市支援： ワorkshopの開催（⑤）、自主防災組織の行う活動としての財政的な支援（⑨）

団体支援： 講話や助言（備中県民局、岡山大学、防災士会、自主防災組織）

D. 地区防災計画の策定

地区防災計画とは、居住者等が共同して行う自発的な防災活動に関する計画で、「自分たちの地区」に災害が起きたとき、「命を守る」ための行動や活動につなげるための準備等、災害時の行動計画をみんなで作ります。

策定された計画は、地域から提案することで、高梁市地域防災計画に位置付けることもでき、様々な支援を受けることができます。

- 高梁市支援： 計画策定に向けた説明会の開催（⑤）、自主防災組織の行う活動としての財政的な支援（⑨）
- 団体支援： 講話や助言（備中県民局、岡山大学、防災士会、自主防災組織）

E. 防災マップの作成

「自分たちの地区」のどこに危険が潜んでいるか、どこに避難するのが良いか、どこの道が安全か、など地域みんなが使いやすい地域のためのマップを作成する。地域みんなで作成することで、防災に対する機運が高まり、地区防災計画と併せて作成することで、「命を守る」ための行動や活動にさらにながる。

- 高梁市支援： ハザードマップの提供（④）、防災マップ作成に向けた講話（⑤）、自主防災組織の行う活動としての財政的な支援（⑨）
- 団体支援： 講話や助言（備中県民局、防災士会、自主防災組織）

F. 自主防災組織等による防災学習会開催

地域の防災力向上を図るため、自主防災組織等が自主的に地域住民に向けてマイ・タイムライン作成などの防災学習会を開催する。（地区防災計画が策定された地区では計画に位置付けられた防災活動となる。）

- 高梁市支援： 防災学習会講師（①⑤）、自主防災組織の行う活動としての財政的な支援（⑨）
- 団体支援： 防災学習会講師（岡山河川事務所、岡山地方気象台、備中県民局、消防本部、防災士会、自主防災組織、高梁青年会議所、消防団）

G. 自主防災組織等による防災訓練実施

地域の防災力向上を図るため、自主防災組織等が自主的に地域住民に向けた防災訓練を実施する。（地区防災計画が策定された地区では計画に位置付けられた防災活動となる。）

高梁市支援： 自主防災組織の行う活動としての財政的な支援（⑨）

団体支援： 避難訓練参加、指導・助言（消防本部、公民館、社会福祉協議会、防災士会、自主防災組織、消防団、民生委員児童委員）

H. 自主防災組織等による避難所の自主運営

地域住民が避難しやすい安全な集会所等を避難所として開設、利用するため、高梁市で実施する「自ら避難」制度に自主防災組織等で申請・登録し、避難所の自主運営を行います。

なお、円滑な避難所運営のため、体制などを事前に決めておきます。

高梁市支援： 住民による避難所運営ができるマニュアルの配布と必要な見直し作業（⑦）

団体支援： 避難所開設訓練や講話（防災士会、自主防災組織、消防団）

I. 避難行動要支援者の個別避難計画に基づく避難支援

避難行動要支援者（地区にお住いの高齢者や障害者等で、災害時に自ら避難することが困難かつ支援を必要とする方）は、その家族や隣近所、地域住民、福祉等関係者など多様な支援が必要です。

事前に作成する個別避難計画の作成に協力するとともに、個別避難計画に基づく避難支援を地域で実施します。

- 高梁市支援： 避難行動要支援者名簿の作成と個別避難計画の作成支援 (⑪)
- 団体支援： 避難行動要支援者の避難支援者として個別避難計画作成を支援 (社会福祉協議会、自主防災組織、消防団、民生委員児童委員)